

辰巳丘だより 41

平成28年11月11日（金） 編集責任者 校長 堀田葉子



- ◇ 芸術の香り高い校風
- ◇ きめ細かい学習・進路指導
- ◇ 国際色豊かな学校行事

温かいご縁が広がっています ～2年修学旅行～

10月18日（火）～21日に実施された2年修学旅行で、1日目に宿泊した気仙沼プラザホテルの堺支配人が、11月8日（火）に本校を訪ねてくださいました。思いがない再会に生徒も喜び、復興支援の思いを新たにしました。発端は2年架谷さんがホテルに残した手紙。これに感動した堺支配人がfacebookに投稿し、今回の訪問につながりました。facebookを見た卒業生・保護者からも感動の声が寄せられ、地元新聞にも取り上げられました。震災学習がその日限りの体験でなく、生徒達の生きる姿勢になってほしい、そしてそれが広がってほしいと願っています。今後2年学年団では、千羽鶴をホテルに送る予定です。



教室で再会を楽しむ生徒達



旅行でお世話になった堺支配人と今泉さん



北國新聞に掲載されました

活躍する先輩からのメッセージ④

山本 悠平（やまもと ゆうへい）さん（8期生）



<辰巳丘卒業後の活動紹介>

2000年 金沢美術工芸大学製品デザイン学科。同年松下電器産業株式会社（現パナソニック）入社。

オーディオ・ビデオ・TVなどのホームエンターテイメント機器のプロダクトデザイン、カメラ・レンズなどの光学機器のプロダクトデザインなどの経歴を経て、「Panasonic Design Center Europe」にてシニアデザイナーとして赴任。

現在は、カメラからクルマのデザインまでを幅広く担当し、欧州現地発想によるデザイン戦略を一貫して行っている。モノの形だけではなく、使われる風景、得られる経験価値までを一貫してディレクションし、欧州から日本に向けて価値を発信。Good Design Award、IF Design Award など受賞多数。

<辰巳丘生へのメッセージ>

辰巳で学んだ3年間は、そのすべてがその後のデザイナー人生の礎となる貴重な経験でした。デッサンと向き合った何千もの時間は、私が描く一本の線に集約されています。しかし絵が描けることはスタートに過ぎません。大事なのは常に上を見ること。夢を忘れず、学校生活を楽しみ尽くしてください！